



横浜市議員 佐藤 茂

- 昭和30年2月13日生
- 関東学院大学文学部卒
- 衆議院議員 佐藤一郎秘書
- 平成3年横浜市議員選挙より連続9回当選
- 社会福祉法人恵泉会代表
- 自民党横浜市連幹事長・会長代行・横浜市議会議長歴任

横浜市の目指す特別市とは

昨年末、旭区連合自治会連絡協議会から山中横浜市長に特別市の実現を求める意見書が提出されました。

区民代表の連合自治会会長の皆様はじめ、地域自治を治める皆様が特別市の内容を理解され、特別市実現は身近で大変重要な問題だとお感じになられてのご意見かと感じております。

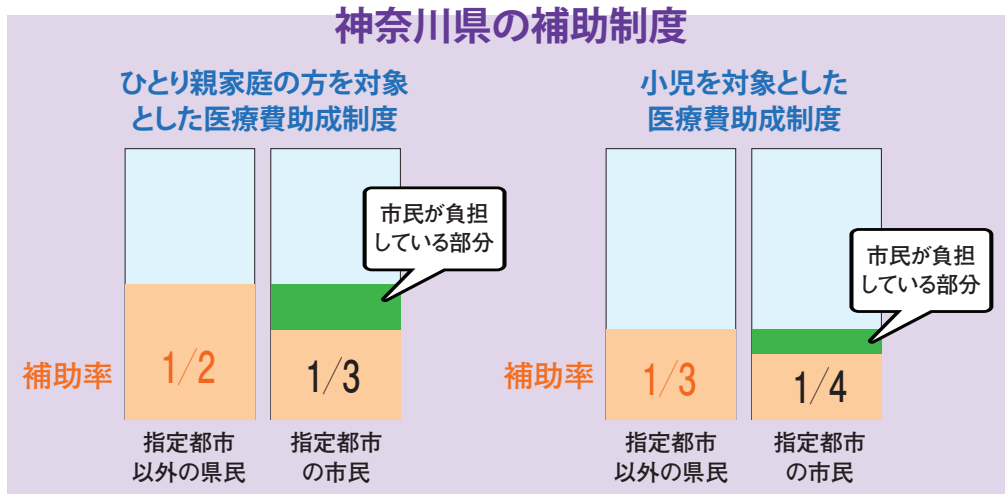
私は横浜市議会議長在任中、我が国最大の基礎自治体の議長として、「将来人口減少により多くの中小都市が消滅すると警鐘を鳴らされる中、政令指定都市が国の成長エンジンとして特別市となり地方経済を牽引し活力を生み出して行かなければならない。」と提唱させて頂き、大阪市を除く政

令市の議長を懸命に説得し、国への特別市要望活動の先頭に立ち、積極的に行なわせて頂き、それがきっかけとなり各政令市も特別市実現に向けた活動を始める事が出来たものと自負しております。今年も時宜を得て益々特別市実現に傾注する年にさせて頂きたいと考えております。

なぜ今特別市実現が必要なのか。

人口減少が始まり、超高齢化の進行に伴う社会保障関係費が大幅に増加しています。その財源をいかに確保していくかがこれからの持続可能な都市経営に求められます。

横浜市は政令指定都市として一般の市より多くの事務や権限を有していますが、県からの事務・権限の移譲を受けても、その経費に見合う税制上の措置が県からなされなく、多くの不足分を横浜市が市民税より負担しています。例えば、小児医療費の無償政策や障害児の医療費補助を行なっていますが、神奈川県は一般市町村には1/3の費用助成をしています。政令市の横浜には1/4の助成だけなので、横浜市は市民税を利用して不足分を補填しています。



政令指定都市と道府県には二重行政の問題が山積み！

同じ県内に住む父母が同じ県民税を徴収されているのに、横浜市に住む小児や障害児、ひとり親家庭への医療費助成が県から不平等な扱いを受けている事は、憲法第14条が定める法の下での平等や租税公平主義の基本理念にも抵触の疑義があります。これ以外にも不公平な制度は沢山ありますがこれらの制度を是正しなければなりません。

地方制度を議論する国の有識者会議においても、政令指定都市と道府県には二重行政の問題が顕在化し、この解消を図ることが必要であると答申しており、道府県と市町村との地方制度の構造は1888年の県の大合併から130年以上も棚ざらしです。

横浜市が特別市となれば県との二重行政を解消し、日本を牽引する大都市として、子育て支援など市民の皆様にとり多くの身近な行政サービスがより効果的に提供出来るだけでなく、地域の実情を踏まえながらよりきめ細かな施策として展開できるようにもなります。区民皆様、横浜市が目指す特別市をご理解頂き、特別市の立法化にお力をお貸しください。

特別市は、市域内の地方事務すべてを担い、二重行政を完全に解消することができる制度です。



住み良い街、旭区へ。今、全力で進めています。

旭区

車や緊急車両、歩行者の踏切遮断解消へ。各鉄道の直通化により通勤通学の利便性を確保。道をつなげ、鉄道をつなげば、街につながり人がつながっていきます。

1. 鶴ヶ峰駅付近は、便利に生まれ変わります。

私が議長当時力を注いだ「鶴ヶ峰を連続立体にすること」が実現します。



鶴ヶ峰駅周辺は踏切が多く慢性的な交通渋滞を発生し、消防・救急・防災などの緊急活動に影響が出るなど市民生活に支障をきたしています。加えて鉄道により街が分断されており、歩行者の回遊性や街並みの連続性が確保されていない等と様々な課題を抱えているのが現状です。横浜市は西谷駅から二俣川駅間の約2.8kmの鉄道を地下化し、10箇所の踏切を除去します。また鶴ヶ峰駅北口周辺では、連続立体交差事業と街づくりを一体的に進めます。鶴ヶ峰は再開発での利便性向上が期待され、子育て世帯も住みやすい街へと生まれ変わります。



相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業の詳細をこのQRコードから閲覧できます。

鉄道を地下化にして、踏切渋滞を解消します！



連続立体交差事業による効果

- 踏切遮断がゼロになり、車渋滞と通勤通学の不便が解消される。
- 消防・救急活動、避難行動の際、安全性が向上する。
- 鉄道上部空間の活用により、街の賑わい・活性化が期待される。
- 周辺住民はもとより、バス・タクシー・流通事業者にも恩恵が大きい。

昨年末より着工した連続立体交差事業は、2033年に完成予定です。

2. 「相鉄・東急」の直通化は、今春3月18日に開業です！

相鉄・東急線直通で、ますます便利になる二俣川。通勤・通学時間が短縮になります。



相鉄・東急直通線は、相鉄・JR直通線 羽沢横浜国大駅と東急東横線 / 目黒線 日吉駅を結ぶ約10kmの路線。相鉄運行エリアと東海道新幹線の新横浜駅や、目黒、渋谷などの東京都心部を乗り換えなくアクセスできるようになります。

事業効果 所要時間短縮例

| 区間 | 所要時間 |
|---------|-----------------|
| 二俣川～新横浜 | 31分→11分(約20分短縮) |
| 二俣川～新宿 | 59分→44分(約15分短縮) |
| 二俣川～目黒 | 54分→38分(約16分短縮) |

地域住民の悲願であり、共に横浜市政に取り組んできた菅前総理と力を合わせ進めてきた「相鉄・JR直通化」は2019年に開業しました。

相鉄線とJR線、東急線との相互直通運転は本年3月18日に開通予定です。横浜市としては都市鉄道等利便増進法に基づき、国や県とともに整備主体へ事業費の補助を行うなどの対応を行っています。この事業により、東急線新宿・渋谷へ乗り換えなしにつながります。

二俣川～新横浜へは、わずか11分です。約20分の短縮になります。通勤・通学にも大変便利になります。遅滞なくこの直通化の事業が行われるよう周辺整備に尽力してまいります。



直通情報の詳細はこのQRから閲覧できます。

横浜市議員佐藤茂 事務所 TEL.045-954-0001 FAX.045-954-0002

〒241-0021 横浜市旭区鶴ヶ峰本町 1-1-6 第2吉原ビル2F http://www.sato-shige.jp E-mail : s-sato@heart.ocn.ne.jp